

チャレンジ！！オープンガバナンス 2020 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題タイトル（注1）	No.	タイトル	自治体名
	-（事務局用）	muP（むっぷ）	室蘭市
チームがつけたアイデア名（注2）（公開）	投稿型室蘭市情報共有マップ		

（注1）地域課題タイトルは、COG2020 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題タイトルを記入してください。

（注2）アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

赤字部分は削除して該当の番号を記入

チーム名（公開）	PATH TELL		
チーム属性（公開）	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	3	
メンバー数（公開）	6名		
代表者（公開）	春田 侑佳		
メンバー（公開）	川合優作 ANIS SYAZWANI QISTINA BINTI HISHAM	鈴木悠可 村井茜 米田理子	

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2020_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2020 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin_cog2020@pp.u-tokyo.ac.jp

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示-非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

（具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>）
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません）
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

＜チームメンバー名簿＞

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認

○

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、これこれの課題解決のために、何をやる社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたいなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください>

室蘭の公共交通の満足度増加

<この課題解決のためのアイデアが具体的に実行される場面を想定してください。そこで…>

<「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です>

投稿型マップ作成アプリ

ターゲット

イミгранト室蘭を主なターゲットにした室蘭市民

イミгранト室蘭とは、室蘭に来てまもない移住者たちを指します。



muP は、室蘭市の地図をユーザー全体で作りに上げていきます。

ユーザーは、自分のいった施設や場所の写真と文章をアプリ上に投稿することで、“My muP”と“Wide muP”にそれぞれピント写真で表示されます。“My muP”と“Wide muP”は、ローカルモードとネットワークモードとも言い換えられる。

My muP

My muP では、自分の投稿だけを見ることができる地図で、日記感覚で使用することができます。投稿は、公開設定にすることで、Wide muP に反映されます。

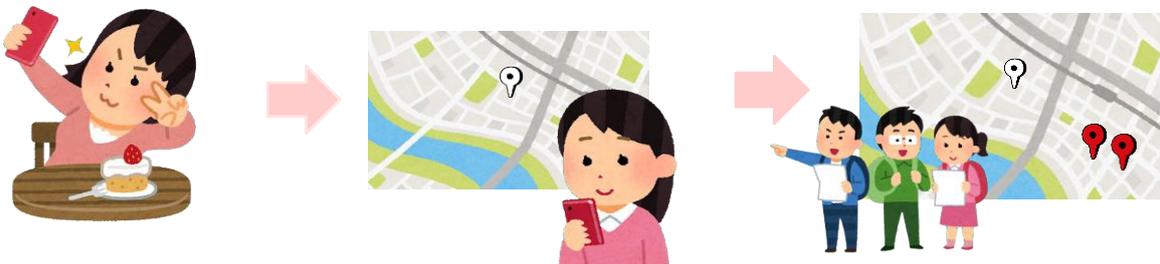
Wide muP

Wide muP では、My muP で公開設定にした投稿がユーザー全体で共有されます。ユーザーは、“いいね”と“知らなかった”ボタンの二つで投稿を評価することができます。評価が高いユーザーを市の広報誌で取り上げます。また投稿が増えてきて Wide muP が見づらくなるのを防ぐため、フィルター機能や検索機能を用いてユーザーのニーズに合わせた情報を提示可能にします。

投稿の公開非公開について

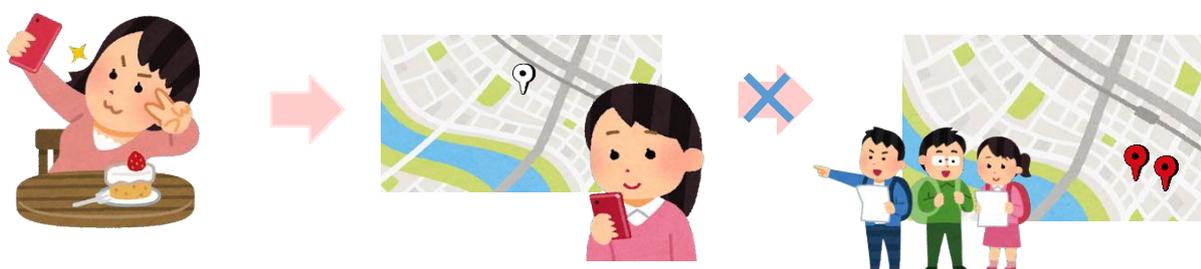
公開の場合

My mup の投稿が Wide mup で共有されます。



非公開の場合

My mup の投稿は、本人のみが確認できます。



2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由について、それを**サポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明**してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するというアイデアの内容を支えるための、「なぜ」これをやりたいのかの思いを上記のデータを示しつつ書いていきます>

アイデアの提案に至った理由

室蘭の公共交通の満足度低下には二つの原因があると考えます。

一つ目は、**バスの本数が少なく**(COG2020 のサイトで室蘭市が公開しているオープンデータライブラリの道南バスの時刻表を参照)、それにより生じたバスとバスとの時間が**長い待ち時間**を作っているという問題です。

二つ目は、**移住してきた人達が室蘭の魅力的なスポットに気づきづらい**という傾向にあるという問題です。実際に大学生活のために室蘭に移住してきた私たちもこの問題を実感しています。メンバーの一人は室蘭に来て3年経った今でも、知人に連れられて初めて知る場所も多く、魅力的な場所にも関わらず知名度が低いということに残念に思っています。

私たちは、この二つの問題が公共交通の満足度低下に繋がっていると考えました。具体的には、**イミгранト室蘭の人々は室蘭各所の知識が身につく、行くことができる場所をあまり知らないためバスの待ち時間にできることや行く当ての選択肢が少ない**といった状況になっており、それが待ち時間の退屈感を生み、**満足度の低下に繋がっている**のではなかと考えました。

そこで、イミгранト室蘭の人に**「行くことのできる場所の知識」を増や**してもらうことで、待ち時間にできること・行ける場所の選択肢を増やし、**退屈感を低下させ満足度の向上に繋が**れようと考え、このアイデアを提案しました。

アイデアの機能面に関する理由

私たちのシステムは、魅力的な場所を経験と共に知れる機会を与え、普段の退屈な移動時間に“わくわく”を提供し、キャッチコピーとして**「同じ道、同じバスでも行く目的が違えば気分も違う」**を掲げ人々の交通に対する満足度を改善します。

また、このシステムはユーザーが自ら行動し、外出や投稿を**楽しみながら室蘭各所に詳しくなっていける**仕様になっています。既存のマップアプリのように情報を眺めるだけでなく、自分自身が地図を埋めるという行為によって、経験と共に室蘭を知っていくことができます。

さらに、投稿によって、誰かにとって**良い体験・場所が他の人が行ってみたいと思う要素**になり、それが連鎖することにより、ユーザー全員の室蘭各所に対する関心へ繋がっていきます。

“いいね”や“知らなかった”などの評価ボタンは、マイナーゾーンの開拓とともに、ユーザーの投稿のモチベーションを保ちます。

また評価の高い投稿を市の広報誌などに掲載することで、ユーザーのモチベーションアップと共に、紹介された店や場所の知名度が向上するといったメリットがあります。加えて、店側は店の知名度向上に繋がる良い投稿をしてもらうためサービスの向上を心掛け、それにより室蘭全体の活性化に繋げることができます。

2. アイデアの説明（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

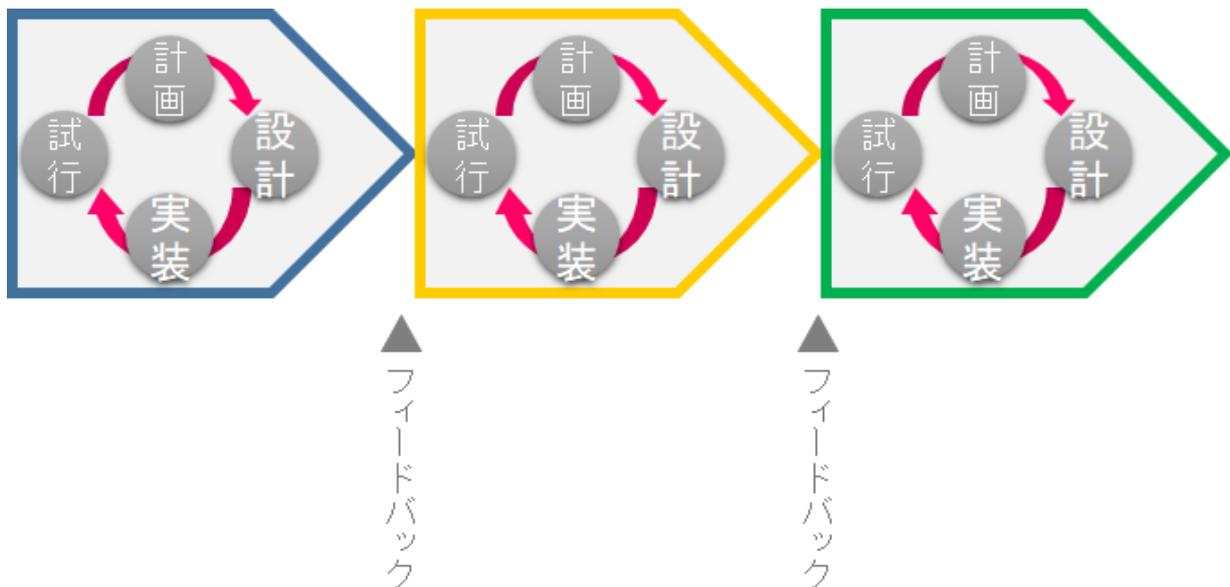
アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2 ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます>

・予算

内容	単位	個数	値段	総合(JYP)
システムプログラマー(学生)	1人/1ヶ月間	12	30,000	360,000
サーバー管理人	1人/1ヶ月間	12	30,000	360,000
デザイナー(UI等)(学生)	1人/1ヶ月間	2	30,000	60,000
コンサルタント	1人	1	200,000	200,000
レンタルサーバー	1ヶ月間	12	1000	12,000
道南バスへの出資(広告等を含む)	1回	1	200,000	200,000

・スケジュール(アジャイル型開発)



2. アイデアの説明（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

活動		1ヶ月目				2ヶ月目				3ヶ月目				4ヶ月目以降			
		第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	第13週～			
計画	室蘭市と道南バスの会議	■				■				■							
	仕様作成	■				■				■							
設計	システムプログラム設計		■	■			■	■			■	■					
	サーバー設計		■	■			■	■			■	■					
	初期地図(白地図風)作成		■				■										
	UI デザイン					■	■	■	■								
実装・テスト	実装・テスト・フィードバック				■				■								
	試験運用											■	■				
	本リリース～システム維持													■	■	■	■

秋のアイデア考案段階における課題提示自治体との連携状況について、以下の質問にお答えください。